

報道解禁日	
新聞	10月30日付朝刊以降
テレビ ラジオ インターネット	10月30日 9:00以降

平成26年度東北地方発明表彰について

地方発明表彰は、社団法人発明協会(現公益社団法人発明協会)により大正10年に創設され、各地方において優秀な発明を完成された方々、実施化に尽力された方々、発明等の指導、奨励、育成に貢献された方々を顕彰することにより、発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、毎年実施されています。

今年度は、本県から下記のとおり受賞が決定しました。

	受賞名	受賞者	発明名称	区分	概要
1	東北経済産業局長賞	有限会社エスケースコンサルタント 代表取締役 篠崎 良司 福島工業高等専門学校 橋本 孝一	浄水場の汚泥を 活用した消臭剤	特許	本発明は、浄水場から排出される汚泥を原料としており、従来産業廃棄物として処理されるものを再利用することで、産業廃棄物の大幅削減と廃棄費用の削減、及び環境保全につながるものである。脱水された汚泥を、所定の温度と時間で乾燥する簡易的製法で製造が可能で、生活空間の消臭や有毒ガスの吸着など、消臭能力が高いことに特徴がある。
2	日本弁理士会 会長奨励賞	株式会社カナメ 新製品開発部 次長 鈴木 和浩	屋根上設置物の 固定装置	特許	本発明は、太陽光パネルを屋根上に設置する際に用いるもので、載置体が取付金具に組み合わされて固定装置を成し、アース線も兼ねることでアース線接続作業が不要となる。このため、安価で簡易的仕組みによって、屋根材等に組み合わせることが可能で、係止体の位置ずれも防止でき容易に位置決めが可能となる。さらに、係止体が着脱可能なため、交換も容易となる。
3	一般社団法人 福島県発明協会 会長賞	日本全業工業株式会社 中央研究所 チームリーダー 佐瀬 孝一 エキスパート 山城 尚登	豚の精液希釈保存用 組成物	特許	本発明は、養豚で広く行われている人工授精に於ける、精液保存の困難性を解決するものである。保護剤に血清等の天然動物由来成分を含まないことが特徴で、保存された精液に悪影響を及ぼす恐れがなく、安価に製造することができ、保存性と精液活力を維持することが可能となった。
4	発明奨励賞	株式会社NHP 代表取締役 山田 敏博 テクニカルアドバイザー 山田 陽介	太陽光集光パネル	特許	本発明は、エネルギー密度の低い自然光を集光することで、高温を発生させ媒体などに蓄熱するものである。従来大規模な施設となる集光パネルを、平衡配置する受光部と複数の反射鏡とを組み合わせ、コンパクトな装置としている。受光部を2か所設けることで、受光部毎の利用が可能で、目的別に利用範囲を広げることが可能としている。
5	奨励功労賞	元喜多方市立岩月小学校 教員 松崎 俊雄		奨励 功労	喜多方市少年少女発明クラブ指導員として、平成16年から地元小学生の指導を行い、平成21年から喜多方市少年少女発明クラブ会長となる。その間、喜多方市発明展において長年審査委員長を務め、喜多方市発明展50回記念事業では、講師として基調講演を行うなど、青少年の育成、発明の普及、推進に多大な貢献した。

《表彰式》平成26年11月13日(木)14:00から、郡山ビューホテルアネックスで行われます。(郡山市中町10-10 電話(024-939-11

《問い合わせ先》一般社団法人福島県発明協会(電話 024-959-3351)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 『地方発明表彰』とは ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■主催

公益社団法人発明協会

文部科学省、特許庁、中小企業庁、日本弁理士会、各経済産業局、担当県(今年度の東北地方の担当県は福島県)

■事業の趣旨

各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、大正10年より実施。

全国を8地方に分け、各地方において優秀な発明、考案、意匠を完成された方々、発明等の実施化に尽力された方々、発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え顕彰。

■表彰

□発明等に関する表彰

・特別賞【文部科学大臣発明奨励賞、特許庁長官奨励賞、中小企業庁長官奨励賞、東北経済産業局長賞、発明協会会長奨励賞、日本弁理士会会長奨励賞】

・県発明協会会長賞

・発明奨励賞

□発明奨励に関する表彰

・奨励功労賞：発明協会事業を通じ、発明の指導、奨励、育成に多年にわたり尽力し、顕著な功績のある方に贈呈

一般社団法人 福島県発明協会 電話 024-959-3351
